

日本倶楽部会報

平成 27 年 7 月 第 5 号

～ 日本倶楽部会員総会開催される ～



日本倶楽部会員総会の様子



平成 27 年度の会員総会は 6 月 9 日（火）午後 1 時から、大会議室にて開催されました。

今回は「平成 26 年度事業報告及び決算の承認」という通常の案件の他に理事、監事の任期満了に伴う選任案件、他に理事の定数を 10 名から 11 名に 1 名追加するという内容の「定款の一部改正」が上程されました。

「定款の一部改正」については会員定数の 2/3 の出席が必要となるということで、開会直前まで委任状を含めての出席者数が 2/3 を上回るかどうか心配されていましたが、当日は実出席者 56 名の他に委任状出席者が 326 名に達し定数の 2/3 の出席者を確保でき、すべての議案が滞りなく可決成立しました。

26 年度の事業報告及び決算の説明に関しては、26 年 1 月より会費の改訂を致しましたが、その効果もあり財務内容が前年度に比べて格段に改善されました。具体的には経常収支で 2,600 千円の黒字を（前年度は 18 千円の赤字）経常外収支で 16,161 千円の黒字（前年度は洗面所の修繕工事（14,310 千円）もあって 7,610 千円の赤字）で正味財産は 18,694 千円増加しました。

理事定数の 1 名の増員は、近い将来予想される国際ビルの建て替えに備えて、前広に問題点を検討するこ

とを考慮して体制の強化を図る為行われたものです。

新しい理事には、新任は井上幸彦、小村武、関 要、高木茂、中澤忠義、伴 裏の 6 名、再任が石原信雄、妹尾正毅、中田一男、原田明夫、持永堯民の 5 名、計 11 名が選任されました。また新しい監事には、新任は瀬田悌三郎の 1 名、再任が大堀太千男、多田宏の 2 名、計 3 名が選ばれました。

総会後の理事会において石原信雄会長が再選されるとともに今回退任される宮本四郎、野村銀市両副会長の後任に中田一男、持永堯民が副会長に選任され新しい体制が発足しました。

総会終了後午後 3 時からロビーを会場に懇親会が開かれました。総会出席者の他に来場の会員の方々も多数参加され、和やかな雰囲気でも盛り上がりました。懇親会は 1 月 14 日に賀詞交換会が開かれ、会員の方々から「このような機会がせめて四半期に一回位あれば良いのに」という声が聞かれたので、3 月 6 日に会員作品展の機会に第 2 回目が開かれ、今回は第 3 回目に当たりますが、これからも機会を選んで懇親会が開かれることが期待されています。

（文：副会長 中田一男）

